

## 第3回市民啓発部会を開催しました



1月24日（金）に第3回市民啓発部会を開催しました。参加者は、部会メンバー7人、事務局2人、上越地域在宅医療推進センター1人の10人でした。

＜今回の議題＞

- (1) 令和6年度の振り返り
- (2) 令和7年度に向けて

＜部会での検討事項＞

- (1) 令和6年度の振り返り

### ① 職能団体や職場単位での取組の実施状況

- ACP の研修用媒体や人生会議リーフレット（以下：リーフレット）、もしバナカードを活用した研修会を事業所内や法人内、職能団体で実施した。
- 家族が集まるお正月を ACP について考える機会としてもらえるように、利用者にリーフレットを渡した。
- 法人内の業務研修や、事業所内に設置されている「看取り委員会」において、継続的に学べるように、研修用媒体に音声をつけたり、DVD にしたりして、いつでも視聴できるよう工夫した。

### ② 研修受講後アンケートの結果の共有

- ACP について知らなかった専門職が 4 割近くいた。職種によって差があり、薬剤師、介護支援専門員、社会福祉士は 7 割が知っていたが、栄養士や介護福祉士は 5 割が知らないという結果だった。

### ③ リーフレット活用の好事例の収集・周知方法について

### ○ 配布のタイミング

- 介護保険申請時や入退院時、状態変化時、在宅生活が困難になったとき、免許の更新テストでひっかかったとき
- 包括職員やケアマネは常にカバンに入れておき、必要な時に活用する
- 正月などみんなが集まる時
- とにかく“目にする機会”を多くすることが大切

### ○ 設置場所

- 医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障害者相談支援事業所、特別養護老人ホーム等施設 等

### (2) 令和7年度に向けて

#### ① 意見交換した内容

- 専門職の中でまだ ACP を知らない人がいることから、まずは ACP に興味を持っていただき、“自分事として考える”ことができるようになるよう、継続的な研修の実施が必要。
- 市民向けにも活用できる研修用媒体を活用することや、日頃の関わりの中で市民にも啓発できるような取組等が必要。

#### ② 目標

- 専門職が ACP について日頃から意識し、市民に対して ACP の説明をする機会が増える

#### ③ 取組方針

- 専門職が ACP について日頃から意識できる土壌作り
- 部会委員自身や部会委員が所属する職能団体・職場の専門職がリーフレット等を活用し、日頃の関わりの中で市民に対して啓発を行う

#### ④ 評価指標

- 研修会等を行った回数、受講者数、アンケートの内容
- リーフレットの活用回数